



大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】

「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく生きる生徒の育成」



平成30年9月14日

第8号

校長 柴田美由紀



“All members ~みんなでつくる努力の結晶” … 第72回体育大会

9月10日(月)に、多数の御来賓、地域、保護者、御家族の方々が見守られる中、第72回大原中学校体育大会を開催することができました。さわやかな秋晴れのもと、大きな怪我もなく終わられたことがまず何よりでした。

3人のブロック長による堂々とした選手宣誓で体育大会の幕が切って落とされ、終日青、赤、黄の三(み)つ巴(どもえ)の熱い戦いが繰り広げられました。

私も心を弾(はず)ませながら、生徒の皆さんが躍動する姿を見ていましたが、皆さんの熱い鼓動が直(じか)に伝わってくるような盛り上がりのある体育大会であったとうれしく思います。

今年の体育大会は、準備や練習の時間が、わずか一週間であって必ずしも十分ではありませんでした。しかし、実行委員長の田中君、福田君、山田さんそして3人のブロック長以下、皆さんの努力のもとに、効率的な練習を計画・実行してきてくれました。特に後半の集中力と追い込みは見事で、こうして立派にやり遂げてくれました。心から感謝したいと思います。総合優勝に輝いたブロックと集団創作演舞で最優秀賞を獲得したブロックに、それぞれ優勝カップを授与し、その健闘を讃えています。本年度は、黄ブロックが見事「総合優勝」を果たし、青ブロックが「集団創作演舞最優秀賞」に輝きました。

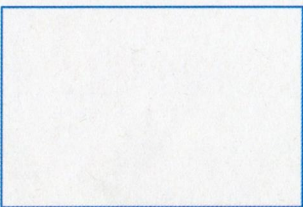
こうして、点数をつけて勝敗を競う以上、いろんな種目の成績の積み上げ、そのトータルとしての順位はつきましたが、皆さんが頑張った姿、取組の姿勢、努力そのものは、どのブロックもとても素晴らしいものでしたし、青春の大切な思い出となることでしょう。吹奏楽部の演奏に合わせての各ブロック堂々の入場行進やかけ声高らかに統率のとれた体操は今年も健在でした。また、閉会式での全体エールや全員肩を組んでの校歌斉唱は、スローガン「All members ~みんなでつくる努力の結晶~」の実現を体感する素晴らしいものでした。先輩から後輩へと受け継がれてきた行進や体操、校歌、パラパラ炭鉦節などは見事で、特にパラパラ炭鉦節は今年新たに集団行動を加えるなど、今年も御来賓や地域の方々から賞賛の声が聞かれました。今や大原中の立派な伝統として根付いてきたことを実感します。

宣誓！ 我々選手一同は限られた練習期間の中、暑さに耐えながら、一生懸命に練習を頑張ってきました。時には、みんなの気持ちが集まらず苦しい時もありました。みんなで協力しより深い絆ができました。そして今日を迎えることができました。短い期間でつくり上げた仲間との絆を大切に、3ブロック全員が一致団結し、全員で平成最後の体育大会を盛り上げ、今までにない最高の体育大会にすることを誓います。

「All members ~みんなでつくる努力の結晶~」
平成30年9月10日



体育大会総合成績結果	
優勝	黄ブロック
集団創作演舞結果	
最優秀賞	青ブロック



威風堂々の入場行進

いくつかの競技を振り返れば、男子の棒倒しはスピード感のある迫力ある戦いを、女子の棒引きは、力と力のぶつかり合い、タイトル通りのまさに“女たちの熱き戦い”=勝負へ

最優秀賞の青組ブロック演舞

の執念を燃やすオンナの姿を見せてくれました。集団創作演舞も各ブロックの創意工夫を凝らした演技で、どのブロックも短期間でよくここまで仕上げたものだという出来栄を披露してくれました。毎年集団創作演舞に懸ける各ブロックの思いは熱く、心中期するものがあつたと思いますが、一体感や連動性、場面転換、隊形の工夫などの印象による僅かな差によって順位がついたということでしょう。いずれにしろ、ブロックの1年から3年まで、心一つに一所懸命にがんばつたこと、そして、何よりみんなが飛び切りの笑顔で楽しめたことを、ぜひ胸に留めてもらいたいと思います。

赤組ブロック演舞

黄組ブロック演舞

この体育大会で弾(はず)みをつけたその先、学校を挙(あ)げで“実りの秋、文化の秋”という言葉に相応(ふさわ)しい2学期になるであろうことを確信します。経験を糧(か)かにどんどん成長していく皆さんに大いに期待します。

「皆さんお疲れ様でした！」
「今、体育大会を終えて…」
実行委員長からみんなへ



校舎に掲げられたスローガン

校歌斉唱及び全体エール

体育大会実行委員長

「この平成最後の大原だ！」

体育大会前、自分は「不安だ」、「この自分がみんなを引っ張っていかれるだろうか」という気持ちで、理由は「今年、新しい集団行動」という新しい取り組みがあったから。しかし、思っていたよりもみんなが素早く行動してくれたおかげで、練習はスムーズにいき、本番は、むしろ決めることが出来た。これから、今回の体育大会で、また絆と横のつながりを文化発表会の活動に生かしていきたい。2ブロックには、競合、みんなに負さうな、また、苦闘が、みんなに思い、最後に、体育大会に携わっていたみんなに感謝の言葉を伝えたい。

体育大会実行委員長

「最高の体育大会」

私は体育大会の取り組みが、いまよりも前は、自分が全校生徒を動かせることが出来るまで配られた。練習期間も、みんなのやることがあり、大変な途中、やめたいときもありました。そんな時、友達や生徒会の仲間が励ましてくれて、手伝ってくれました。みんなもやることのある、場所の、気にかけ、本当にうれしかった。体育大会が終わりました。今は、もっともっと長く、つらい、辛い、と思うほど、本当に楽しかった。この体育大会で、みんなの絆が深まったと思います。その絆を次の行事に生かしていきたいと思ひます。